



全国ジュニア大会フリーダンスフォーメーション
(内4名が笠間市少年団) 東京・文芸会館にて



全国ジュニア大会(小学3年生以下スタンダードの部)



熱血 少年少女応援部

第28回 スポーツ少年団に密着インタビュー

笠間市ダンススポーツ スポーツ少年団

● 団のPR

未就学児は親子参加で、音楽をかけたの運動や簡単なダンスを踊ります。マナーと安全を重視し、活動時間帯を3区分して活動しています。子どもの指導に興味のある高校生以上の大人の方も歓迎します。

● 指導方針、またはモットー

幼児期に、運動遊びやダンスの模倣により音感と運動神経を培う。団員は小学1～5年生で個人差がありますが、10種類の競技ダンスの指導を通じて、大人になってから必要となる、自己研鑽・仲間づくり・指導力の育成を目的としたコーチングを行います。

● 目標

全国大会でカップル戦並びにフォーメーションで決勝へ進出する。ジュニアリーダーを育成する。将来指導者となる人材を育成する。

● 競技の魅力

一人では踊れないダンススポーツの特徴を活かした多彩なトレーニングやダンス



リーダー **椎名 温俊さん**

● チームの特徴は？

誰とでも楽しく踊れる。

● リーダーとして心掛けていることは？

全国大会で勝ち進み、より多くの人たちにセレモニーに参加する喜びを伝えたい。

● 目標は？

全国大会のフォーメーションで3位内



左から、山口くるみさん、米田健治さん

代表指導者 **米田 健治さん**

音楽に合わせるなどの技術習得が自然にできるように、未就学児の反応をみながら12年間に渡り工夫したダンス指導を行ってきました。

小学校低学年はコリオグラフィー（俗称：足形）から教えるのではなく、足裏や足指の使い方・足首と股関節の使い方・上半身とアームの使い方へと多様な運動で体の使い方を、時にはおふざけ運動を通して自然に身につくように指導しています。個人差がありますが、早い子は小学2年生から言語指導を始めます。

● 米田 TEL.090-1614-5032



練習方法を通して豊富な質疑指導ができるので、文武両道と人材育成を図るスポーツとして最適です。また、認知症予防効果も期待できる生涯スポーツです。
● その他の活動
土曜・日曜には、ひたちなか市での練習に参加できます。
全国大会へは、ひたちなか市少年団との合同でフォーメーション戦へ出場します。



都道府県対抗全国大会

スポーツ少年団とは

青少年の健全育成のため、東京五輪（1964年）の2年前に創設されました。同学年の子どもと同じ目標に向かって練習したり、学年の違う子どもとも触れ合ったりできます。

活動拠点 ▶ 友部公民館 多目的ホール

練習日時 ▶ 毎週木曜日午後4時30分～6時